



さいたま市

令和4年度前期 子どもの提案
結果公表

Thank you



中学生の皆様からお寄せいただいた主な提案の概要と
さいたま市の方針をまとめました

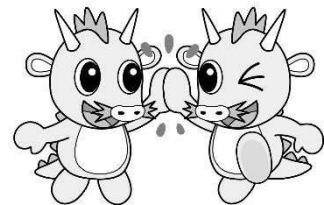
さいたま市市長公室秘書広報部広聴課



もくじ

①食品ロスを削減する方法、ゼロにする方法について、
アイデアを募集します！ … P1

②大切に思う地域の歴史文化資源としての「お宝」は何です
か。その「お宝」を未来につなげていくには？ … P7

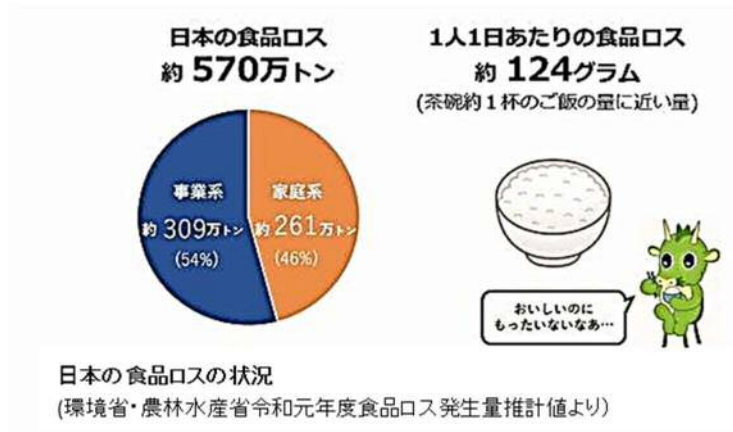


- 未来を担う子どもたちから、市のまちづくりに対する提案を聴く機会を設け、子どもからの提案を市政に反映することを目的として「子どもの提案」制度を実施しています。
- テーマについては、一つだけを選択するのではなく、複数のテーマについて意見募集を可能としました。



テーマ1. 食品ロスを削減する方法、ゼロにする方法について、 アイデアを募集します！

食品ロスとは「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」のことです。現在さいたま市の家庭からは、市内で収穫されるお米の量以上の食品ロス（年間約 8,700 トン）が発生しています。日本全体でみると年間約 570 万トン！ととても多くの食品が捨てられています。この中には、みなさんがレストランや家庭で食べきれずに残した食べ物も含まれています。また、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで、売り切れずに賞味・消費期限が切れたものや、食品を製造するときに廃棄する分も含まれています。



そこで、みなさんにお聴きします。

家庭の中や街中で発生する食品ロスを削減したり、ゼロにしたりするためにはどのような取組が必要だと思えますか。また、その取組を多くの人に広め、実践してもらうためには、どのような方法で伝えたら良いと思えますか。

●763 人と5グループから、1,187 項目寄せられました。

問合せ

環境局資源循環推進部資源循環政策課

TEL 048-829-1338

FAX 048-829-1991

(1) 食べられる分の食材を買うようにすること

寄せられた提案概要

- ・必要以上に買わずに、こまめに買い物に出掛ける習慣を付けると良いと思います。
- ・家の冷蔵庫にあるものを把握し、余計なものを買わないようにすると良いと思います。
- ・自分の食べられるものを食べられる分だけ買うと良いと思います。

94 項目

さいたま市の方針

一人ひとりが生活の中で、食品ロス削減につながる行動をすることが大切です。市ホームページで冷蔵庫整理術の動画を公開しています。いただいたご提案は、今後の取組の参考とさせていただきます。



(2) 食事を食べ切ること

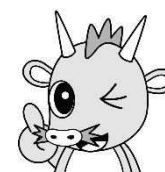
寄せられた提案概要

- ・レストランなどでごはんの量を、小・中・大で選べるようにした方が良いと思います。
- ・給食は、食べ切れる量のみ、盛り付けてもらおうと良いと思います。
- ・好き嫌いせずに全部食べるのが良いと思います。

146 項目

さいたま市の方針

一人ひとりが生活の中で、食品ロス削減につながる行動をすることが大切です。市ホームページで小盛メニューの取組を行っている飲食店を一部公開しています。また、どうしても食べきれない場合は、持ち帰ることで食品ロスの削減につながります。「mottECO」マークのあるお店では、食べ残しの持ち帰りを推奨しています。ぜひ探してみてください。いただいたご提案は、今後の取組の参考とさせていただきます。



(3) 残った食品をアレンジすること

寄せられた提案概要

- ・余った食材を使ってできる美味しい料理のレシピを考えて発信していくのはいかがでしょうか。
- ・食材を余すことなく使うレシピを作ると良いと思います。
- ・残ってしまった食材をアレンジすると良いと思います。

46 項目

さいたま市の方針

一人ひとりが生活の中で、食品ロス削減につながる行動をすることが大切です。市ホームページやInstagramで余った食材を使用したレシピを公開しています。いただいたご提案は、今後の取組の参考とさせていただきます。



(4) 賞味期限の近いものを選ぶこと

寄せられた提案概要

- ・賞味期限、消費期限が近い商品は値下げをして売るのはいかがでしょうか。
- ・早く使う場合には賞味期限の早いものを買うようにするのが良いと思います。
- ・買い物をするときに消費期限の近い物を買うと良いと思います。
- ・消費者に、賞味期限の近いものから買うよう商店で知らせるのはいかがでしょうか。

321 項目

さいたま市の方針

一人ひとりが生活の中で、食品ロス削減につながる行動をすることが大切です。すぐ食べるものを買うときは賞味期限の短い手前の商品を選ぶという「てまえどり」を推奨しています。ぜひ、取り組んでみてください。いただいたご提案は、今後の取組の参考とさせていただきます。



(5) イベントを開催すること

寄せられた提案概要

- ・食の大切さを知ることができるフェアなどを開き、もっとたくさんの人に食に興味を持ってもらえるような方法を行うと良いと思いました。
- ・市が主催の料理教室を開催して、市民に料理を教えると市民が余り物で料理をするようになると思います。
- ・市が「食品ロスをなくすWeek」を実施することで、食品ロスの削減につながると思います。

8項目

さいたま市の方針

「食品ロスの削減の推進に関する法律」第9条において、10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」とされています。今年の10月30日に食品ロス削減全国大会をさいたま市で行います。食品ロス削減の取組の紹介や余った食材を使用したレシピの配布などを行います。いただいたご提案は、今後の取組の参考とさせていただきます。



(6) 余った食品は、寄付または肥料化、飼料化し、有効活用すること

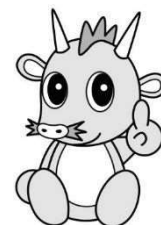
寄せられた提案概要

- 食品ロスになってしまう食品を、所得の少ない家庭や施設へ届けるのはいかがでしょうか。
- フードバンクに出すと良いと思います。
- もう食べられない食品は、畑などの肥料にしたり、バイオマス発電に使ったりすると良いと思います。
- 家庭や事業で余った食材を家畜の飼料にすると良いと思います。

220 項目

さいたま市の方針

家庭で余っている食品をお預かりし、フードバンク埼玉へ提供する「フードドライブ」を市役所などで行っております。
食品残さを肥料化、飼料化する企業を市ホームページで一部紹介しております。
いただいたご提案は、今後の取組の参考とさせていただきます。



(7) 長期保存すること

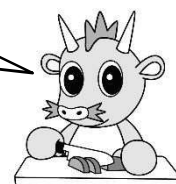
寄せられた提案概要

- 冷凍させたり、焼いたりして長く保存できるようにすると良いと思います。
- 日持ちがしやすいように食材の加工をすると良いと思います。
- 残った食べものなどは、ラップをして保存して、次の日に食べると良いと思います。
- 保存のきく食べものに替えて保管すると良いと思います。

68 項目

さいたま市の方針

一人ひとりが生活の中で、食品ロス削減につながる行動をすることが大切です。食べ物の安全性に注意しながら、適切に保存して食べ切っていきましょう。
いただいたご提案は、今後の取組の参考とさせていただきます。



(8) 食品ロスについて知ってもらうこと

寄せられた提案概要

- 街中等に「食品ロスを防ごう」というようなポスターを貼ることで食品ロスという言葉が身近になると思います。
- ごみ捨て場に食品ロス削減を呼び掛けるポスターなどを貼ると良いと思います。
- 食材の生産過程などを紹介する動画を受感性が豊かな小学校低学年・中学年に見せることで未来の食品ロス削減を少しずつ進めていくのはいかがでしょうか。
- 家族と食品ロスなどについて話合いや考える機会を作るのも、一つの解決策だと思います。
- 食品ロスについて知ってもらうために、商品のパッケージや市や企業のホームページなどに、食品ロスについての表示をすると良いと思います。

174 項目

さいたま市の方針

農林水産省・消費者庁・環境省共同で作成したポスターを掲示したり、さいたま市を含む九都県市でポスターを共同作成し掲示しております。

また、市ホームページで、食品ロス削減の取組を行う際に参考になる情報や動画を公開しております。

いただいたご提案は、今後の普及啓発の参考とさせていただきます。



(9) 食品ロスを削減する制度を作ること

寄せられた提案概要

- 食品ロスを削減しようと呼び掛ける条例を作ると良いと思います。
- 食品ロスを削減するには、飲食店で全て食べた人に割引をすれば良いと思います。
- 残菜ゼロ day の制度を作るのはいかがでしょうか。
- ごみ袋を有料化し、有料の指示されたごみ袋しか回収してもらえないようにすると良いと思います。
- 食品の残りも分別して回収すると良いと思います。
- 食品ロスを出したところに、1 キログラム当たり〇〇円などの罰金を取るのはいかがでしょうか。

80 項目

さいたま市の方針

制度化することで食品ロス量は削減すると思いますが、さいたま市では楽しく、無理なく食品ロスを削減していきたいと考えております。
いただいたご提案は、今後の取組の参考とさせていただきます。



(10) 食べ物の流通量を減らすこと

寄せられた提案概要

- 食糧の輸入を減らすのが良いと思います。
- 生産量を少なくすれば良いと思います。
- 消費者は必要な分のみ食品を購入し、生産者は供給している食品の量を押さえると良いと思います。
- 多くの食品ロスを生む事業者に対し、生産量を決めてからの生産を呼び掛けるのはいかがでしょうか。

30 項目

さいたま市の方針

生産量や輸入量を減らすことで食品ロス量は削減すると思いますが、さいたま市以外の地域や生産者など多くの協力が必要なご提案と感じます。
いただいたご提案は、今後の取組の参考とさせていただきます。



テーマ2. 大切に思う地域の歴史文化資源としての「お宝」は何ですか。

その「お宝」を未来につなげていくには？

さいたま市内には、市の花「サクラソウ」の由来でもある特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」や国史跡「見沼通船堀」をはじめ、寺社の建物や古民家、仏像、みみずく土偶や縄文土器など国・県・市あわせて527件の指定文化財や、岩槻郷土資料館など国登録有形文化財の建造物が15件あります。その他、盆栽や人形、地域のお祭りや通学路のお地藏様など、様々な歴史文化資源として「お宝」が残っています。「お宝」は、さいたま市の自然や人々の生活の中で生まれ育まれてきたものです。

しかし、環境の変化や都市として変化する中で、「お宝」を守っていく担い手が減少しています。「お宝」は一度失ってしまうと、二度と戻りません。開発などで壊れてしま



うほか、「お宝」を守り伝えていく担い手が減ってしまっても「お宝」は消えてしまいます。

地域の歴史を伝える「お宝」を次世代につなげていくために、担い手を増やす必要があります。

そこで、みなさんにお聴きします。

さいたま市内で、さいたま市の「お宝」として、自慢したいもの、誇りに思うもの、大切にしたいもの、残したい風景などはありますか。それらの「お宝」は、どうすれば未来に残せると思いますか。

●86人と1グループから、166項目寄せられました。

問合せ

教育委員会生涯学習部文化財保護課

TEL048-829-1721

FAX048-829-1989

(1) お宝を「知る」「知ってもらう」ためにポスターやパンフレットで紹介すること

寄せられた提案概要

- そもそも文化資源が身近にあったとしても気に掛けず全然気が付かないこともあるので、文化資源についての呼び掛けのポスターなどを各地域、各所に貼ったりすると良いと思います。
- 歴史的な建物や場所には、周りが自然豊かで、生き物が暮らしているところが多いと思います。その大切な自然を歴史を守るためには、まず私たちがその価値を知ることが重要だと思います。人間は興味・関心のないものを守ろうとはしません。なので、まず「知る」「知ってもらう」ために地域の掲示板などにポスター・パンフレットなどの紹介できるものを作ると良いと思いました。
- さいたま市に史跡や文化財があるのは知っていたけれど、どんな文化財があるのか、また、それらはどういった経緯でできたものでどういった人が関わっていたのか具体的に知っていることが少ないので、そういった史跡や文化財の歴史のストーリーを「さいたまだより」などといった形で小・中学生も手軽に知れるようにします。その「物」の歴史のストーリーを知ること、小・中学生も自分から興味を持つきっかけになると思います。

9項目

さいたま市の方針

「お宝」を未来につなげていくには、ご提案のとおり、まずは知ってもらうことだと思います。本市では、指定・登録された「文化財」について、文化財マップや各種パンフレット、文化財時報「^{かや}権りぼーと」などを作成していますが、PRが十分ではないと考えています。まだ光の当たっていない「お宝」とあわせ、今後も積極的な情報発信に取り組んでいきます。



(2) お宝を「知る」「知ってもらう」ためにWEBやSNSを利用

すること

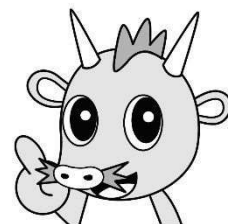
寄せられた提案概要

- 生物の生態調査を行い、その情報を公開する。インターネット上で、「さいたまの自然情報交流」のようなホームページを作り、「どこに、どんな生物がいた」などの情報をみんなで分け合うことができるようにし、どんな自然があるか知ってもらうと良いと思います。
- まずは、どのような「お宝」があるかをみんなが知る必要があると思う。どのようなものがあるかを知るためには、ポスターやウェブサイトなどで歴史文化資源に関心を持てるような内容を書き、イベントなどを通して広く分からせるようにしたら良いのではないのでしょうか。
- 人気のあるSNS活動者とコラボを試みたり、全国の人々が注目する場に盆栽を飾ることがあると有名になると思います。
- 古い建物などはCGにして埼玉県のサイトなどで見れるようにすれば良いと思います。 9項目

さいたま市の方針

WEBやSNSを利用した情報発信は大切だと思います。一部については、ホームページで紹介、SNSでの発信を行っております。今後も積極的な情報発信に取り組んでいきます。

ご提案のSNS活動者とのコラボや古い建物のCGについては、今後の取組の参考とさせていただきます。



(3) 情報発信すること

寄せられた提案概要

- お宝の価値を地域の人々に発信すると良いと思います。
- 功績を情報発信すると良いのではないのでしょうか。
- ちょっと離れたところでも十二日祭りや調公園、神社をPRしてほしいです。 3項目

さいたま市の方針

文化財時報「^{かや}榎りぽーと」では、^{うるしはけ}漆刷毛製作に携わる方を特集したことがあります。年4回発行しています。市のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧になってください。



(4) 宝を「知る」「知ってもらおう」ためにイベントや祭りを開催する、参加すること

寄せられた提案概要

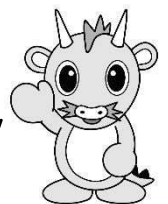
- その地域の文化に触れていくために、行事などを増やす。子どもでも簡単に参加できるようなイベントを増やしたり、参加したら何かもらえるなどの、興味を引くようなイベントが良いと思います。
- 夏休みを活用して、イベントや展覧会などを積極的に開催することで、取組を多くの人に知ってもらえるようにします。「お宝」とはその人の心に響いたり、残ったりしたものだと思うので、いろいろなイベントをたくさん開催し、それぞれの人に合った「お宝」を見つけることが、さいたま市の歴史的文化の継承につながるのではないかと思います。
- スタンプラリーみたいなものを作り、そのスタンプの枠には、さいたま市の郷土資料館の外観をイメージしたものなどにすれば良いと思います。そして、スタンプがたまったら、さいたま市の美術館のチケットがもらえたりする制度を作り、さいたま市の歴史的資源に関わる場所にたくさん行ってもらえるといいです。そのときに、友達で行ったら、スタンプが2個もらえるなど、たくさんの方が集まるようにできたら、なお、良いと思います。
- 自然観察イベントなどをして、どのような生物が生息しているか調査してはどうでしょうか。
- 浦和まつりのような昔からあるまつりなどをつづけていくのが良いと思います。
- ミステリーツアーの企画です。目的地は隠し、具体的に何をするのか（移動、〇〇体験など）だけを示した旅行プランを作成し、それに参加してくれる人を募集します。そしてそのツアーの行程で地域の魅力的な行事や文化を体感してもらいます。そうすることで、パンフレットなどの書面で伝えるよりも、もっと深くその魅力に触れてもらえるんじゃないかと思います。
- 残していくためにはできるだけ多くの人たちに参加してもらえるようにしてその魅力を伝えたり、ポスターを書いたりすると良いのではないかと思います。

19 項目

さいたま市の方針

本市のお宝である「田島ヶ原サクラソウ自生地」や「見沼通船堀」では、サクラソウの開花期に見学会を実施したり、年に1回、通船堀に水を溜めるこうちん閘門開閉実演などを実施しています。その他、お囃子はやしや獅子舞など郷土芸能の開催情報などもお知らせしているところです。

ご提案いただいたとおり、イベントなどを開催し、多くの市民が参加していただける機会の創出を検討してまいります。



(5) 体験や見学など「お宝」に触れる機会を設けること

寄せられた提案概要

- 簡単なものであったら、手作り体験をしたりするのが良いと思います。またその原型は少し残しつつ、流行を取り入れるのも良いと思います。そうすれば時代の担い手にいずれなる若者に興味を持ってもらうことができるからです。
- 夏祭りなどの行事があるときに人形の説明をしたり、人形を作る体験ができるとう良いです。
- 工芸品を作る体験を大規模に行って「体験」することが必要です。「体験」をつなぐには世代間の受渡しが必要事項となってくるため、次世代が興味や関心を持たなければあっという間に廃れてしまうものだと思います。
- 作っている場面を見せたり、体験したりすることがよいと思います。
- 昔の人々の生活で体験してもらうことで、昔の生きる苦悩や自分が今生きていることへの尊さを実感してもらえば良いと思います。

10 項目

さいたま市の方針

体験や見学できることはとても大切な機会だと思います。本市では、人形博物館や盆栽美術館で人形や盆栽の体験講座を実施しています。ぜひ、訪れてみてください。また、「お宝」全てを対象とすることは難しいですが、ご提案いただいたように、体験や見学など機会の創出を検討してまいります。



(6) 学校行事や事業で学ぶ、体験すること

寄せられた提案概要

- 学校の行事などにも追加することにより、子どもに文化に触れさせてはいかがでしょうか。
- 学校の給食で行事（七夕、鏡開き）などを覚えるために、時季にあった給食を出してはどうでしょうか。
- 小、中学生を対象として、歴史を学ぶという項目で校外学習はどうでしょうか。それから、学校で歴史についての物を作ってもらい、下の学年に伝えるということをくり返して、どの世代の子どもも知っているという未来が作られていくと思います。そうなったら、市民のほとんどが歴史についてある程度分かっていることになると思います。
- 浦和区はうなぎが有名で、うなぎ料理を作っているお店の方々が学校に来てお話をすることで、世界的に不漁になっているうなぎを保護し、未来につなげていけるのではないのでしょうか。
- 各学校で、色々な伝統的な文化を学ぶような時間若しくは取組を設け、担い手の重要性について幼い頃から教えていけば、将来まで残ってこれらにつなげることができるはずだと思います。
- 小学校などと協力をして、日本の歴史やその地域の歴史の奥深さを知ってもらうとう良いと思います。

16 項目

さいたま市の方針

ご提案のとおり、小さい頃から地域の「お宝」に触れる、学ぶことは大変重要なことで、郷土愛を育むものだと思います。小学校で地域学習の時間がありますが、継続して取り組める機会を設けられるよう、関連する部署や団体と調整を図っていきたいと考えております。



(7) ボランティアを活用すること

寄せられた提案概要

- ボランティアなどで文化資源を保ったりして今よりも良い状態でもっと未来につなげていくべきだと思います。
- ボランティアを募り、定期的に掃除などをしてはいかがでしょうか。
- 風景を守るためのボランティアを集めたりすることを提案します。
- ボランティア団体を作ったり、地元の小、中学校で、手入れ体験のようなイベントを行って、桜に興味を持てるようにすると良いと思います。

5 項目

さいたま市の方針

未来に「お宝」をつなげていくためには、多くの人たちが支える仕組みを作っていくことが大事だと考えております。すでに、活動している団体もありますが、更なるボランティアの活用について検討してまいります。



(8) 資金を集めること

寄せられた提案概要

- 震災などで壊れてしまった建物を復旧するときの費用を援助すると良いと思います。
- お宝を未来につなげていくには、多くの人々が寄付する募金が必要だと思います。
- 地域の「お宝」の良さを学校などで広め、募金活動や、協力してくれる人を集めたりした方が良いと思います。
- 資金は学校やコンビニエンスストア、駅前などで募金をしてもらってはどうか。

5 項目

さいたま市の方針

未来に「お宝」をつなげていくためには、ご提案のとおり資金面の援助も大切な要素です。所有者だけで支えていくには限界があるため、本市では、今年度からクラウドファンディングを実施して、広く資金を集める取組を始めます。今後も、クラウドファンディングなどを活用してまいりたいと考えております。



(9) 税金の投入や軽減・免除をすること

寄せられた提案概要

- 道路の修繕に使う税金の一部だけでも、文化資源がなくなる可能性などが高いところを優先的に使っ
てはいかがでしょうか。
- 担い手を増やす方法として、その担い手になることによって税金の税率を軽くしたりすることなどを行
えば良いと思います。
- 地域のイベントに参加をしたり、その地域の伝統の自主的に担おうとしている人々に、特定の割合で税
を免除したりするなどの特典があったりするのでしょうか。 3項目

さいたま市の方針

限られた財源の中で、何を優先的に実施するかということには様々な意見があると思いますが、文化資源に向けた予算の確保に今後も努めていきます。

また、税金の軽減や免除については、一部の文化財において、固定資産税及び都市計画税の減免を実施しています。



(10) 博物館等を整備すること

寄せられた提案概要

- 盆栽や土偶のように歴史的価値のあるものを展示できる施設を作ったら良いと思います。
- 戦国時代や鎌倉時代の武蔵の武士の歴史などをアピールする場所を作ったり博物館を作ると良いと思
います。
- 歴史の博物館を作り、校外学習の見学場所にして、少しでも関心を持ってもらえば良いと思います。
- 「お宝」の良さをどんどん知ってもらうための場所を作ると良いと思います。 4項目

さいたま市の方針

本市には、市立博物館や浦和くらしの博物館民家園、盆栽美術館、人形博物館、うらわ美術館、漫画会館等の他、県立の博物館・美術館、鉄道博物館など多くの博物館施設があり、多くの「お宝」が展示されています。ぜひ一度博物館に行ってみてください。



(11) お宝の周辺環境を整備すること・連携すること

寄せられた提案概要

- ・東大宮操車場を鉄道の名所として、また国鉄からの歴史ある操車場を見学したりできるようにすると良いと思います。これを実現するために、周囲の産業道路も整備すると良いと思います。
- ・大宮公園内にある武蔵一宮氷川神社や、氷川神社のとなりにある埼玉縣護國神社などの歴史的に価値のあるものを残すために、人が多く集まる NACK5 スタジアムや、その他の施設と連携して、人々の印象に残したりしたら良いと思います。
- ・見沼たんぼ内になにかのカフェなどを作って、たんぼが見えることを売りにすれば、行ってみたくなる人も多くなり、認知度が高くなるのではないかと考えました。
- ・古くからの岩槻の雰囲気と、近代的な都市岩槻としての姿を融合させた、町を作れば、歴史文化としてのお宝を守りつつ、発展する町両方のメリットを得られると思います。
- ・寺や神社をめぐる道を整備してはどうでしょう。
- ・木や仏像、寺社の建物や古民家などの形のあるものには看板みたいな印を付け、歴史文化資源であることやその歴史を記してみんなに広めていくのが良いと思います。
- ・歴史的な町並みを残すと同時に、そこに自然の花や木などを植えれば自然と歴史の両方を楽しむことができます。

14 項目

さいたま市の方針

これまでは「お宝」を点で保存・整備してきましたが、これからは、線や面での保存・活用を考えているところです。そのためには個々の「お宝」を輝かせると同時に周辺の環境を整えていく必要があります。様々な人たちと連携し、実施していくために、検討を進めております。

また、岩槻区では、すでにカフェやショップに古民家を再生し、活用している事例もあります。

いただいたご提案は、今後の参考とさせていただきます。



(12) 後継者を育成すること

寄せられた提案概要

- 最近無形文化財のおはやしを伝えてくれる人が少なくなっています。私は小一の時にお囃子^{はやし}をはじめて見て習い始めました。その時私に丁寧に教えてくださった方々も今ではおじいちゃんです。このような文化が廃れないようにするには、10代の協力や、積極的な参加が必要です。そして、今一番大切なのはより多くの子ども達におはやしや、里楽について知ってもらうことです。子どもから「今日おはやしについての授業をしたんだよ～」と親に伝えれば親にも知ってもらえます。地域の結束力を強くし、伝統文化を伝えていくことが大切だと思います。
- 地域の「お宝」を守るために多種多様な人々を集めることを提案します。誰か一人でも興味を持ってもらうことによって、自分が守りたい地域の「お宝」を引き継いでくれる人々が出てくるのではないかと思います。

8項目

さいたま市の方針

実際に、お囃子^{はやし}の担い手となっている方のご提案、ありがとうございます。

後継者の不足は、日本全国で起きている問題です。特にお囃子^{はやし}や人形の作り手など、「無形」のお宝を未来につなげていくには、後継者を育てることが重要だと考えます。ご提案のように、子どもたちに見てもらい、知ってもらうことがまず第1歩です。そして親世代も子どもたちと一緒に活動してもらえると、今よりも引き継いでいけるのではないかと思います。

「これからも続けてくださいね」ではなく「一緒に活動します」という方が増えるような取組ができるよう、他市の事例も参考に検討してまいります。



(13) 条例を制定すること

寄せられた提案概要

- 開発が行われないように条例などを制定し、別所沼公園や川などの、水鳥や水辺の生物が生息している場所を守る。

1項目

さいたま市の方針

条例の制定で規制を掛けることも必要ですが、条例を制定しただけでは守っていけないのが現状です。規制を掛けた上で、どのように守り伝えていくか、一緒に考えていきましょう。



(14) 「郷土かるた」をしたり、教科書などで教え、実際に見て考える機会を作ること

寄せられた提案概要

- 地域の地蔵や、祭りを残すには、小学生や中学生などの間で、「郷土かるた」をしたり、教科書などで、そのものについて教えると良いと思います。その後、校外学習などで実際に見ることで、地域の祭りや歴史のあるものについて子どもたちが考える機会を作ると良いと思います。

1 項目

さいたま市の方針

「お宝」を知ってもらう手段として「郷土かるた」の利用はとても良いことだと思います。本市には「郷土カルタ」がありませんので、かるたの製作について、今後検討してまいります。



(15) グッズやキャラクターを作ること

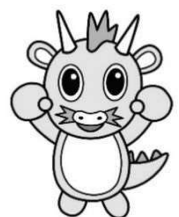
寄せられた提案概要

- 「お宝」をモチーフにしたグッズや、キャラクターなどで、より興味や関心を持ってくれるのではないかと思います。地域のイベントでも発表したり、学校で時間を作ってもらって伝えたりすることで、どんどん「お宝」の大切さやおもしろさが広まっていくと思います。指定文化財などは全て、大切に広まるべきだと思います。

2 項目

さいたま市の方針

ご提案のとおり、「お宝」をモチーフにしたグッズやキャラクターの製作は、興味・関心を引くものだと思います。今後の取組の参考とさせていただきます。



(16) さいたま市の良いところを伝え合うこと

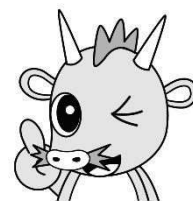
寄せられた提案概要

- 「お宝」＝市民だと思いました。理由は、高齢者の方々だったら、昔のさいたま市が分かるし、今の若い人たちだったら、今のさいたま市の良いところを伝えていけると考えたからです。これらを未来につなげてゆくために、さいたま市の観光スポットに、それぞれ、市民の方々をつけて、みんなが楽しめるようにしたり、さいたま市の良いところを伝え合う会というものを、やりたい人だけでなく、中学校や小学校でも、地域の人を呼んで、話し合い、考えれば良いと思いました。

1 項目

さいたま市の方針

ご提案のとおり、さいたま市の良いところを伝えていけるようになるとすばらしいと思います。自分の住む街の魅力ある資源を大切に思い、皆が語れるようになるように、さいたま市の「お宝」を見つけ、広めていく取組を進めていきたいと考えています。



(17) お宝はなんですか？

寄せられた提案概要

- 大宮にある氷川神社があげられると思います。
 - 大宮の鉄道博物館をお宝と考えます。
 - 大切に思う歴史文化！食（和食）です。
 - 私は盆栽をお宝だと思っています。
 - 「お宝」＝市民だと思いました。
 - 「緑豊かな自然」だと思っています。
 - さいたま市にあるどんな歴史的建造物よりもそれらを含めたこの市が1番の歴史文化資源です。
 - 「見沼通船ばり」があります。これは昔の人が積み重ねて作った貴重なものです。
- 56項目

さいたま市の方針

ご提案いただいた「お宝」は、作成中の「さいたま市文化財保存活用地域計画」に掲載する「さいたま市の歴史文化遺産」の参考にさせていただきます。

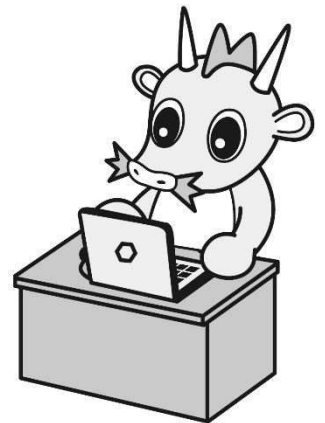


お寄せいただいた主な提案概要と さいたま市の方針についての公表

この冊子は、各区役所情報公開コーナー及び
市ホームページでお知らせしています。

「『子どもの提案』制度」ホームページ

<https://www.city.saitama.jp/006/002/014/index.html>



問合せ

さいたま市 市長公室

秘書広報部 広聴課 広聴係

直 通 048-829-1931

FAX 048-825-0665

E-mail : kocho@city.saitama.lg.jp

令和4年度 前期 「子どもの提案」への ご協力ありがとうございました



令和4年度前期テーマ

- ・ 食品ロスを削減する方法、ゼロにする方法について、アイデアを募集します！
- ・ 大切に思う地域の歴史文化資源としての「お宝」は何ですか。その「お宝」を未来につなげていくには？

皆さんからいただいた意見・提案は、今後のさいたま市を運営していく上での参考とさせていただきます。

今後も様々なテーマについて募集しますので、若い皆さんならではの意見・提案を、ぜひお寄せください。

令和4年10月21日



さいたま市

市長公室秘書広報部広聴課